

科目名	英語2C (Grammar 2) P	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	阿部 聡		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-130123	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を養うため、文法を学習する。 「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。				
学修到達目標	中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識の習得を目指します。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Unit 13 言葉を修飾する：形容詞と副詞 事前に学習箇所を読み、理解不明箇所を確認する。授業後その箇所の理解に努める。
第2回	Unit 14 形容詞のような形容詞句、副詞のような副詞句
第3回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞

第4回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞
第5回	Unit 16 前置詞は英語の『て、に、を、は』 (1) 場所と動き
第6回	Unit 17 前置詞で時間を詳しく (2) 時間
第7回	Unit 18 Better? Best? それとも同じ? : 比較
第8回	中間試験
第9回	Unit 19 立場が変わる受動態と能動態
第10回	Unit 20 ロジックの要：接続詞
第11回	Unit 21 節と節をつなぐ関係代名詞
第12回	Unit 22 場所・時・理由・方法の詳しい説明：関係副詞
第13回	Unit 23 他人の話をどう伝える? : 話法

第14回	Unit 24 ありえない話は仮定法で
第15回	Unit 24 ありえない話は仮定法で
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間：次回ユニットの予習、Formsなどによる課題への解答
【復習】時間・内容	1時間：予習時の疑問点を解消できるようにする

成績評価	
評価基準・方法	期末試験（40%）、小テスト+課題（25%）、中間試験（25%）、VELCテストの結果（10%）の評価
フィードバック方法	テスト、課題については採点して返却し、解説を行います。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	グループワーク

教科書/参考書	本多吉彦／土屋武久 著College Grammar Pathfinder 基本文法から始める大学英語 (金星堂)
受講上の留意点等	言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。小テストを計4回実施する予定です。必ず受けるようにして下さい。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。なお、各回の授業内容は受講生の予備知識、予習の進捗により多少の変更が生じる可能性があります(あるユニットを説明するためにもっと先のユニットに触れる必要が生じることがよくあるため)。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B

科目名	英語2C (Grammar 2) Q	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	田中 敦	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-130123	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	グローバル化と多文化共生が進む現代社会においては、国際理解とコミュニケーションに必要な手段として、英語を読む、書く、聞く、話す能力が社会人に必要なものとして求められている。そして、これら4技能の基礎となるのが語彙と文法である。この授業では、意味を理解するうえで文法が果たす役割を確認するとともに、基本的な英文法の学習を通して英語運用能力の基礎を身につけることを目的とする。				
学修到達目標	中学・高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英語運用のための基礎知識が身に付く。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Unit 13 「言葉を修飾する：形容詞と副詞」
第2回	Unit 14 「形容詞のような形容詞句、副詞のような副詞句」
第3回	Unit 15 「動詞はtoやingで変身：動名詞と不定詞」 小テスト

第4回	Unit 15 「動詞はtoやingで変身：動名詞と不定詞」
第5回	Unit 16 「前置詞は英語の『て、に、を、は』 (1) 場所と動き」
第6回	Unit 17 「前置詞で時間を詳しく (2) 時間」 小テスト
第7回	Unit 18 「Better? Best? それとも同じ? : 比較」
第8回	中間試験
第9回	Unit 19 「立場が変わる受動態と能動態」
第10回	Unit 20 「ロジックの要：接続詞」 小テスト
第11回	Unit 21 「節と節をつなぐ関係代名詞」
第12回	Unit 22 「場所・時・理由・方法の詳しい説明：関係副詞」
第13回	Unit 23 「他人の話をどう伝える? : 話法」 小テスト

第14回	Unit 24 「ありえない話は仮定法で」
第15回	Unit 24 「ありえない話は仮定法で」
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間：教科書の問題を予習し、授業時に回答できるようにしておく。
【復習】時間・内容	2時間：授業内容を踏まえて内容を復習し、理解する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の他に中間試験を行い、各25%（計50%）の割合で成績に反映します。 また、定期試験の他に小テストを4回行い、各回10%の割合で成績に反映します。 さらに、全学共通のVELCテストのスコアを10%の割合で成績に反映します。
フィードバック方法	小テストについては採点のうえで返却し、解説を行います。 定期試験の解答例は、ポータルサイトを通じて掲示します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	本多吉彦／土屋武久著, College Grammar Pathfinder (基本文法から始める大学英語), 金星堂
受講上の留意点等	授業には毎回必ず辞書(電子辞書も可)を持参してください。通信機能付き端末(スマートフォン等)の使用は不可とします。 また、各回の授業内容を確認のうえ、必ず予習をして授業に参加してください。授業内容はシラバスと前後する可能性があるため、予習箇所については、授業中にも詳しく指示します。 なお、小テストは学期中に4回実施予定です。すべての回を受けてください。
JABEE	関連する学習・教育到達目標: B



科目名	英語2C (Grammar 2) R1	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	本間 多香子		実務経験の有無		×
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-130123	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	グローバルなネットワーク社会で活躍するための、国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を養うため、文法を学習する。 「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。				
学修到達目標	中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識の習得を目指します。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Unit 13 言葉を修飾する：形容詞と副詞
第2回	Unit 14 形容詞のような形容詞句、副詞のような副詞句
第3回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞

第4回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞
第5回	Unit 16 前置詞は英語の『て、に、を、は』 (1) 場所と動き
第6回	Unit 17 前置詞で時間を詳しく (2) 時間
第7回	Unit 18 Better? Best? それとも同じ? : 比較
第8回	中間試験
第9回	Unit 19 立場が変わる受動態と能動態
第10回	Unit 20 ロジックの要：接続詞
第11回	Unit 21 節と節をつなぐ関係代名詞
第12回	Unit 22 場所・時・理由・方法の詳しい説明：関係副詞
第13回	Unit 23 他人の話をどう伝える? : 話法

第14回	Unit 24 ありえない話は仮定法で
第15回	Unit 24 ありえない話は仮定法で
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	1時間。教科書の解説を読んで、問題を解く。
【復習】時間・内容	1時間。教科書で間違えたところを中心に、復習する。

成績評価	
評価基準・方法	中間試験25%、期末試験25%、小テスト30%、VELCテストの結果10%、授業への取り組み度10%で評価する。
フィードバック方法	小テストを採点して返却し、解説を行う。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	本多吉彦／土屋武久 著College Grammar Pathfinder 基本文法から始める大学英語 (金星堂)
受講上の留意点等	言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。小テストを計4回実施する予定です。必ず受けるようにして下さい。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B

科目名	英語2C (Grammar 2) R2	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	秋 孝道	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-130123	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を固める。「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。				
学修到達目標	英文法をもとにして、基本的な英語の文章を読解することができる。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	Unit 13 言葉を修飾する：形容詞と副詞
第2回	Unit 14 形容詞のような形容詞句、副詞のような副詞句
第3回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞

第4回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞
第5回	Unit 16 前置詞は英語の『て、に、を、は』 (1) 場所と動き
第6回	Unit 17 前置詞で時間を詳しく (2) 時間
第7回	Unit 18 Better? Best? それとも同じ? : 比較
第8回	中間試験
第9回	Unit 19 立場が変わる受動態と能動態
第10回	Unit 20 ロジックの要：接続詞
第11回	Unit 21 節と節をつなぐ関係代名詞
第12回	Unit 22 場所・時・理由・方法の詳しい説明：関係副詞
第13回	Unit 23 他人の話をどう伝える? : 話法

第14回	Unit 24 ありえない話は仮定法で
第15回	Unit 24 ありえない話は仮定法で
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。配布資料を通じての予習を行う。
【復習】時間・内容	2時間。配布資料の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験の他に中間試験と小テストを実施します。全体の評価は中間試験40%+期末試験40%+小テスト10%+VELCテスト10%=100%となります。小テストの解説を行います。試験の解答例を公表し、評価について公表します。
フィードバック方法	試験後に模範解答、講評を発表する。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	本多吉彦／土屋武久 著 College Grammar Pathfinder 基本文法から始める大学英語 (金星堂)
受講上の留意点等	言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。学生の理解度などにより、シラバス通りの順序ではなく、変更が生じることがあります。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B



科目名	英語2C (Grammar 2) R3	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	恩田 公夫	実務経験の有無		×	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-130123	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎を固める。「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。				
学修到達目標	中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識の習得を目指します。				
実務経験との関連性					

授業計画	
第1回	ガイダンス Unit 13 言葉を修飾する：形容詞と副詞
第2回	Unit 13 言葉を修飾する：形容詞と副詞
第3回	Unit 14 形容詞のような形容詞句、副詞のような副詞句

第4回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞
第5回	Unit 16 前置詞は英語の『て、に、を、は』 (1) 場所と動き
第6回	Unit 17 前置詞で時間を詳しく (2) 時間
第7回	Unit 18 Better? Best? それとも同じ? : 比較
第8回	中間試験
第9回	Unit 19 立場が変わる受動態と能動態
第10回	Unit 20 ロジックの要：接続詞
第11回	Unit 21 節と節をつなぐ関係代名詞
第12回	Unit 22 場所・時・理由・方法の詳しい説明：関係副詞
第13回	Unit 23 他人の話をどう伝える? : 話法

第14回	Unit 24 ありえない話は仮定法で
第15回	総合問題演習（プリントを配布し、問題を解く）
第16回	期末試験

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	予習時間は1時間。授業で扱うテキストの範囲を熟読し、不明個所を確認してください。
【復習】時間・内容	復習時間は1時間。授業で扱われたテキストの範囲について、不明個所の理解に努めてください。

成績評価	
評価基準・方法	期末試験と中間試験を実施します。全体の評価は中間試験45%+期末試験45%+VELCテスト10%=100%となります。
フィードバック方法	試験後に模範解答、講評を發表します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	実習、実技、実験、フィールドワーク
教科書/参考書	本多吉彦／土屋武久 著College Grammar Pathfinder 基本文法から始める大学英語 (金星堂)
受講上の留意点等	言うまでもなく授業中の私語は厳禁です。授業では学ぶことが多いので、集中力をもって授業に臨んで下さい。欠席5回以上で定期試験受験資格を失うので欠席には十分注意すること。
JABEE	関連する学習・教育到達目標：B

科目名	英語2C (Grammar 2) R4	単位数	1単位	学期	後期
担当教員	大竹 芳夫	実務経験の有無		○	
科目区分	カリキュラムマップを表示する	関連するディプロマポリシー			
ナンバリング	X-31-A-1-130123	経営情報学部B：国際理解とコミュニケーションに必要な英語力の基礎があること			
授業の目的	「単語の意味さえ分かれば英語は通じる」と言う学生もいるが、実際のところは単語を羅列しただけでは通じないことが多い。また、英語の基本的な文の組み立て方を無視して単語の意味だけを拾っていくという英語の読み方をする学生も多いが、それでは最低限の理解にすらたどり着かない。この授業では英語を読む・書く・聞く・話すの基本となる、基礎的な英文法の習得を目指す。語彙だけでなく文法も、意味をつかむ上でも意味を伝える上でも重要なものであることを忘れないでほしい。英語を読み、聞き、話し、書くための基礎となる文法事項を学習し、コミュニケーションに役立つ英語力を身につける。あわせて、教科書の付属CDや、日常生活を場面ごとに取り上げるDVD教材を活用しながらリスニング能力の向上も目指す。				
学修到達目標	中学、高校まで学んだ英文法を再学習することにより、英文法の基礎的知識が身につく。				
実務経験との関連性	公立高等学校教員としての経験をもとに、高等学校と大学の円滑な接続を意識した英語教育を行っています。				

授業計画	
第1回	オリエンテーション：教材の特徴・意義と使用方法、授業の進め方、評価方法などについて + Unit 13 言葉を修飾する：形容詞と副詞
第2回	Unit 14 形容詞のような形容詞句、副詞のような副詞句 + DVD教材に基づく学習
第3回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞 + DVD教材に基づく学習

第4回	Unit 15 動詞はto やing で変身：動名詞と不定詞 + DVD教材に基づく学習
第5回	Unit 16 前置詞は英語の『て、に、を、は』 (1) 場所と動き + DVD教材に基づく学習
第6回	Unit 17 前置詞で時間を詳しく (2) 時間 + DVD教材に基づく学習
第7回	Unit 18 Better? Best? それとも同じ? : 比較 + DVD教材に基づく学習
第8回	中間試験
第9回	Unit 19 立場が変わる受動態と能動態 + DVD教材に基づく学習
第10回	Unit 20 ロジックの要：接続詞 + DVD教材に基づく学習
第11回	Unit 21 節と節をつなぐ関係代名詞 + DVD教材に基づく学習
第12回	Unit 22 場所・時・理由・方法の詳しい説明：関係副詞 + DVD教材に基づく学習
第13回	Unit 23 他人の話をどう伝える? : 話法 + DVD教材に基づく学習

第14回	Unit 24 ありえない話は仮定法で + DVD教材に基づく学習
第15回	Unit 24 ありえない話は仮定法で + DVD教材に基づく学習
第16回	期末試験とその他

授業時間外の学習	
【予習】時間・内容	2時間。教科書の前週に指示された部分の予習をする。
【復習】時間・内容	2時間。教科書の学習した内容の見直しと不明点を調べ理解する。

成績評価	
評価基準・方法	【成績評価】定期試験（期末試験）の他に小テスト、その他（中間試験とVELCテスト）を実施します。全体の評価は中間試験25%+期末試験25%+小テスト40%+VELCテスト10%=100%となります。自発的発表報告は内容に応じて加点評価します。 【フィードバックの方法】発表内容にはコメントによるフィードバックを与え、小テスト、中間試験は点数分布を授業で公表し、全体の講評をすることで学習内容の理解を深めます。
フィードバック方法	試験後に模範解答、講評を発表します。

アクティブラーニング	
実施の有無	○
実施内容	プレゼンテーション
教科書/参考書	本多吉彦, 土屋武久著, College Grammar Pathfinder (『基本文法から始める大学英語』), 金星堂
受講上の留意点等	英和辞典や英英辞典(電子辞書も可)を授業時に持参してください。 各回の準備学習の具体的内容については初回授業時に指示します。月1回の割合で小テストを計4回実施します。必ず受けるようにしてください。
JABEE	関連する学習・教育到達目標: B